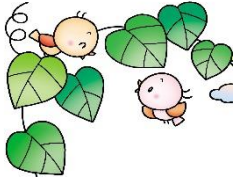




# 学校だより 5月号

横浜市立日吉南小学校

令和6年5月2日



## 木々の緑と種まき

校長 山中 真紀子

若葉の美しい季節となりました。木々の緑が濃くなり、たくさんの緑の色があることに気付かされます。子どもたちにも、様々な個性があり、子どもたちのもっているたくさんの色に気付ける教職員でありたいです。

例年以上に保護者の方が児童と一緒に登校し、子どもたちの安全と安心をつくってくださっていることを感じた4月でした。ひよみな学援隊の方から「挨拶がよくできています。」とほめていただき、パートナー・学援隊紹介の朝会よりも早く「いつもありがとうございます。」と伝えた子もいるそうです。挨拶と感謝のできる子どもたちの姿がとてもうれしく感じます。

### 充実した活動に向けて

学校説明会、懇談会へお越しいただきありがとうございました。各学年、行事や活動が決まると下検を行います。どこにいつ行くか、交通機関は何を使うか、活動内容はどうするかなど、机上だけでは十分でないからです。そして、コロナ禍で多くの行事が変更となり、積み重ねが十分でない部分もあり、「〇年生だからこれ」といった、今までのデータが使えなくなっています。児童の実態に合わせ、無理のない安全な形で、「初めて知った。」「本当はこうだったんだ。」という、学校の中だけではできない学習・活動の場となることを大切にしていきます。そこに、今年度は、学校説明会でもお伝えした、様々な活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら自己の課題を解決する・資質能力を育てていけるよう、教師が種まきをしていきます。子どもたちと一緒に水やりをし、力を大きく育てていきたいです。

### 安心の場に

新しい学年になって1か月。どの子どもと与えられた場所で頑張っています。今は、この頑張りを価値付けし、「頑張れた自分」「頑張れる自分」を味わわせて、さらなる自信をつけ、成長へつなげていきたいです。

毎年入学式で、保護者の皆様に「転ばぬ先の杖を出しすぎず、子どもたちが自分でやるのを見守って、時にはそっと後ろから背中を押していただくとありがたいです。」とお話しさせていただいています。また、「頑張らせたい」「頑張らなくてよい」の加減が難しいと、保護者の方からお話をいただくこともあります。子どもの学校での姿と家庭での姿が違うのは当たり前です。この時期は特に、家庭が一番の安心できる場となっていることでしょうか。家庭でのお子さんの様子を学校と共有させていただき、「学校」も安心できる場の仲間入りをさせていただきますようお願いいたします。気になることがありましたら、担任・専任・学校へどうぞお伝えください。

### 家庭・地域と学校とのつながり

今年度も多くの人に支えられ、教育活動がスタートしています。子どもたちに関わる多くの大人が、子どもたちを真ん中につながるのが、子どもたちのよりよい学校生活となります。ぜひお力を貸していただき、学校に足を運んでください。日吉南小は毎日がオープンスクールです。参観大歓迎ですので、ご連絡いただくとありがたいです。

教職員一同、充実した教育活動に向け取り組んでまいります。保護者・地域の皆様のご理解とご支援のほどよろしくをお願いいたします。

